

2023 年度 農福推進室が発足しました！

五十嵐理事長

メイヴ（ワイン用ブドウ）の植付けを行って 2 年目の春を迎えています。

今年度から、山梨のワイナリーでブドウを栽培されていた方が私共法人の強力な助っ人として当法人に入職されました。私達は農福推進室を組織の中に位置づけて、その室長に清水崇氏を据えて、柳川氏、清水進氏と利用者が一体となって農業部門に邁進して参ります。

そして今年はブドウの方もワイナリーに委託醸造して試験的にメイヴからワインを造り、皆で試飲をしてみようと思っています。そしてブドウの成長と共に私達製造する側のメンバーも共に成長して行きたいと考えています。又、稲作や小麦栽培、野菜の収穫等により、地域の方々への販売、又当法人の利用者さん、職員の給食にも活用していきたいと考えています。何卒、地域の皆様、御一緒に楽しんでください。

一杉部門統括

新年度を迎え新たな気持ちで農福連携事業を進めて参りたいと考えております。昨年度を振り返りますと、地域の農業委員、水利組合、大規模農園などの皆様、農水省関東農政局、神奈川県福祉子ども未来局、藤沢市農業水産課、農業委員会、慶應大学 SFC、NPO 法人ふるさとイベント協議会（ボランティア）など多くの皆様方のご協力を得まして、農業放棄地の賃貸借による野菜やお米の生産・販売、ワイン用ブドウの育成などを一気に拡大した年度となりました。迎えた新年度は、農福推進室を設置し、農福連携を大きく前進させるための「エンジン」として、その中枢を担っていく体制づくりを進めてまいります。今後とも、皆様方のご支援、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

農福推進室メンバー紹介

農福推進室 室長 清水 崇



このたび、農福推進室の室長になりました、清水 崇です。
農福推進室の発足に向けて一言ご挨拶を申し上げます。

光友会では10年以上前から、利用者さんの農業への関わりが利用者さんの心身の健康に有効であるとの考えのもと、農地を保有し畑作業を続けて参りました。一方、近隣の農家では高齢化にともなう農業人口の減少、耕作放棄地の増加が社会問題になっております。農林水産省も農福連携の推進活動を政策として取り上げており、社会福祉法人が農業に取り組むことによる両者のメリットが期待されております。

折しも、光友会では2年前から藤沢由来の新種のワイン用ブドウ（メイヴ）の苗木の育成を始め、将来ワイナリー建設を目指して10年計画がスタートしました。また昨年から周辺農家の方から田畑をお借りして、お米作り、野菜作り、ブドウ畑の拡大と計画を進めております。利用者の皆さんや地域の方々と楽しく農業を行い、健康で充実した生活が送れるように活動して行きたいと思っております。皆様の応援をよろしくお願い申し上げます。

柳川正美職員から一言



今回、神奈川ワークショップ軽作業部門と農福推進室を兼任でやらせて頂く事になりました。農業全般を担当しますが、特に稲作・野菜・利用者さんの支援を中心にしながら、ワイン用ブドウの栽培をお手伝いしつつ自分の勉強の場にしていきたいと思っております。

今後の農作業は、一年を通して野菜を収穫出来るようにビニールハウスを作り、秋には小麦を植えて、収穫した小麦粉で自家製パンを作る予定です。お米は一等米が作れるように努力して、利用者さんの工賃増加に繋がるように、支援していきたいと思っております。

清水進職員から一言



この4月に光友会に入職し、農福推進室に配属となりました。これまでに取り組んできたものづくり・醸造用ブドウ栽培の知識と経験を農業と福祉の連携に活かしていきたいと考えています。

ワイン醸造や米・野菜づくりについては私にとって新たなチャレンジとなりますが、環境保全型農業の推進、耕作放棄地の活用、地域における6次化推進・ブランド化なども念頭に、明るく楽しく、利用者さん・地域の皆さんに喜んでいただけるような活動となるように精一杯がんばります。

かわうそ農園 ブドウの剪定作業を行いました



2月4日（土）に、剪定作業を行いました。剪定作業はブドウ育成で最も重要な作業ということで、山梨県甲州市から専門家にお越しいただき、指導を受けました。

我々には、どの枝を切って、どの枝を残すのか容易には判断できず、結局、すべてご指導していただきました。



かわうそ農園 ブドウの誘引作業を行いました



3月5日（日）に誘引作業を行いました。先月剪定した枝を誘引線に沿って曲げる作業で、枝をしっかりと直角に曲げるのですが、ボキッと折れてしまわないか心配で力が入りません。しっかりと直角に曲げて茎に傷をつけることで、芽ぶきして伸びる複数の枝（新梢）の成長をそろ

えるのだそうです。実に奥が深いです。作業の前に室内でレクチャーを受け、畑へ行って模範のデモンストレーションを見てから各自おそるおそる作業を始めました。次第に慣れてきてうまくできるようになりました。



かわうそ農園 第二圃場でブドウの苗を植樹しました



2月25日(土)に近くの農家さんからお借りした畑にブドウの苗200本を植樹しました。穴掘り機で直径30cm、深さ50cmの穴をあけ、腐葉土を入れてから苗を植えます。支柱を立てて苗を麻ヒモで結び、一段落ですが、早速、雑草との闘いが始まります。



水揚げと萌芽が始まりました

満開の桜とともに、ブドウも成長の時期を迎えます。3月7日に水揚げを観察しました。いよいよ冬眠から覚めて成長開始の合図です。そして萌芽(芽ぶき)が始まり、3月下旬には葉が出てきました。今年はおいしいブドウが取れますように！



編集後記 冬眠から覚めて水を吸い上げ、芽ぶきとともにいよいよ成長が始まります。自然界の摂理を感じます。自然に密着した農業からパワーをいただけるなんて幸せです。(Tachan)